

1.東雲小学校の教育研究

- (1)東雲教育理念
国際社会の中で主体的に生きる心豊かな人間の育成をめざして、たくましい体力、強靱な意志力、創造的な思考力・判断力・表現力の育成を根幹とし、道徳性という緑したたる葉と美的情操という輝かしい花をつけた実践力のある子どもを育てる。
- (2)学校教育目標
共生社会に生きる主体として、自立的・協働的に学び育つ児童の育成
- (3)めざす学校像
落ち着き・安心・信頼の中でエネルギーが発揮できる学校
- (4)めざす子ども像



本校には、単式学級だけでなく**複式学級**、**特別支援学級**があります。

複式学級

- めざす子ども像
異学年のかかわりの中で支え合い高まり合う子ども自ら学び、豊かに表現する子ども
- 教育課程の特色
複式学級では、教科の特性に応じた柔軟な教育課程を編成しています。例えば国語科や算数科等では、学年ごとの教科書を学年に応じて使う学習(異単元異内容指導)を、生活科や音楽科等では、2学年分の教科書を併用し2年間で学ぶ方式(A・B年度方式)をとっています。
- 主な行事
各学年の運営委員が中心となって企画する「たんぼぼ集会」(1年生を迎える会、いもパーティー、6年生を送る会)を年間を通して行っています。こうした活動を通して、1年生から6年生のかかわりを深めています。



複式1年生を迎える会

(5)研究テーマ(小中合同)

「グローバル時代をきりひらく資質・能力」を育むための学びを豊かにする授業の創造Ⅳ
—教科等本来の魅力と学びのつながりの深化—

2.本校の使命

- 1 《学校教育》 小学校として充実した学校教育の創造
- 2 《教育実践研究》 東雲の特長を生かした教育実践研究の推進と発信
- 3 《教育実習・教師教育》 次代を担う教師・社会人の育成

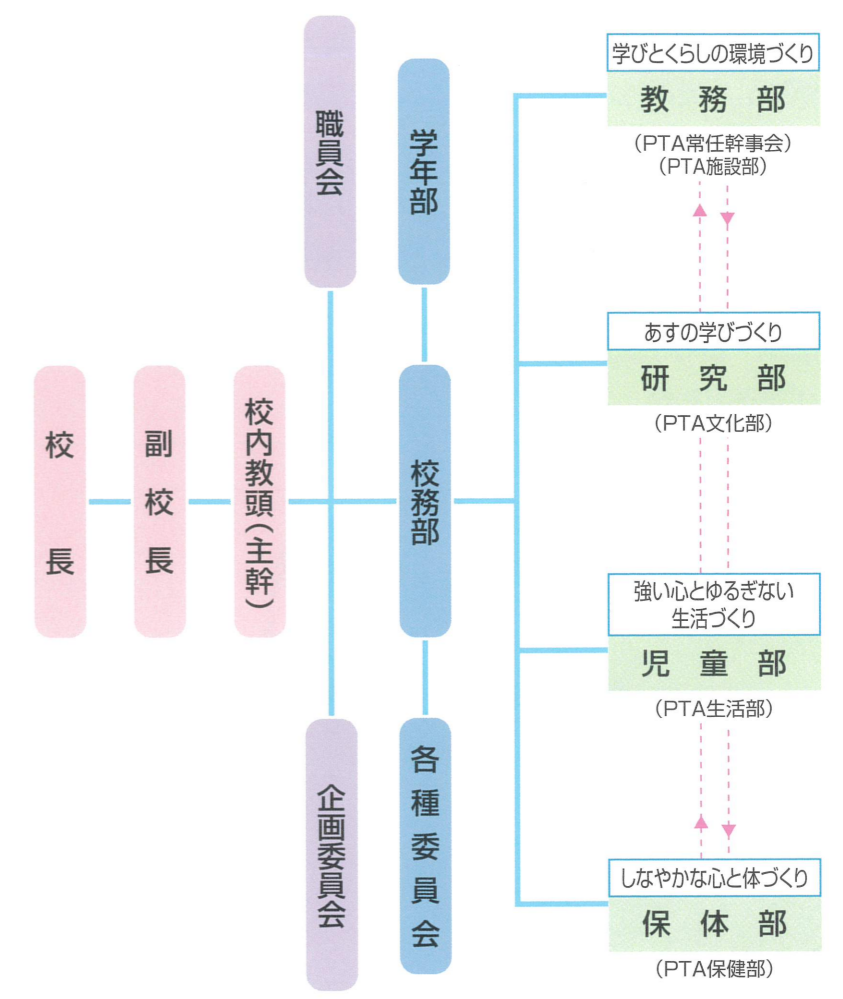
3.取り組みの重点

- 1 **【人とつながり】を大切にする。**
 - 学校は子どもと大人が共に育つ場である。
 - 一人ひとりのよさを認め、よさを学び合う。
 - 「違い」や多様性に対する寛容さを涵養するとともに、「違い」を力に変える。
 - 人や組織のつながりによって安心と新しさが創造され、よい学びやよい仕事ができる。
 - 学校内外のつながりを充実、発展させる。
- 2 **【計画と振り返り】を大切にする。**
 - 計画するから、振り返りが意味をもつ。
 - 振り返りがあるから、評価や改善が可能になる。
 - ときに計画を変更することをためらわない。
- 3 **【変化と可能性】を大切にする。**
 - やればできると信じ、さらなる高みを目指す努力を惜しまない。
 - できた瞬間の実感とそれまでの経験や知恵の共有を大切にする。
 - 授業力・環境構力・学校経営力などを継続的に高める。
- 4 **【いのち】を大切にする。**
 - 慎重にする。迷った時にはより安全・安心な方で。
 - 伸び伸びとする。安心と信頼の中で支え合い伸びていく。
 - 自他の生命・人権を尊重し、世界の平和を願う。



4.校務分掌組織

「創造的・研究的校務部」をめざして



各種委員会：教育相談・いじめ防止委員会、給食委員会、進学委員会、ICT委員会、総合的な学習プロジェクトなど

5.児童数

令和3年4月1日現在

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
単式	64	64	63	62	60	62	375
複式	8	8	8	8	7	7	46
特支	1	2	0	1	1	0	5
合計	73	74	71	71	68	69	426

6.教職員数

種別	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	栄養教諭	講師	事務	環境支援	給食	校医	薬剤師	売店等	総計
男	1	1	1	13			2	1	5		1			25
女				8	1	1	4	3		8	1	1	2	29
計	1	1	1	21	1	1	6	4	5	8	2	1	2	54

特別支援学級

- めざす子ども像
「生活力のある児童」
生活力って？
言葉や行動で自己を十分に表現し主体的に生活や学習をする力
様々な集団や色々な人とのかわり合いの中で生活や学習をする力
色々な場面で判断したり工夫したり持続したりして生活や学習をする力
この力をつけるために、日々の生活や学習を行っています。
- 子どもたちの学習について
本校特別支援学級では、子どもたち一人一人のニーズに対応できるよう、集団による学習を行う中で、個別の指導計画を設定して個々に課題に取り組んでいます。また、国語科、算数科といった教科や、生活単元学習等の教科領域を合わせたもの、総合的な学習の時間も実施しています。
- 主な行事
「生活力」をしっかりつけていくために、年2回の宿泊学習(校内宿泊学習:9月、校外宿泊学習:10月)や、年2回の劇表現(クラス発表会、しのめ発表会)などの行事に、力を入れて取り組んでいます。



サツマイモの苗植え

7.しのめの1年間

東雲の子どもたちは 東雲の先生全員で育てる

宿泊学習を大切に!

4年<海>,5年<山>,6年<旅>
宿泊数を増しながら、
たくましく生きる力を育てます。
1・2組、複式、特別支援の
4学級がみんな一緒に…。

たてわり班を 取り組みの縦軸に!

1年から6年まで一緒になって
グループを構成し、6年のリーダーを
中心に、異年齢集団での活動を
経験しながら学校全体の
一体感をつくりあげます。



お迎え遠足



運動会



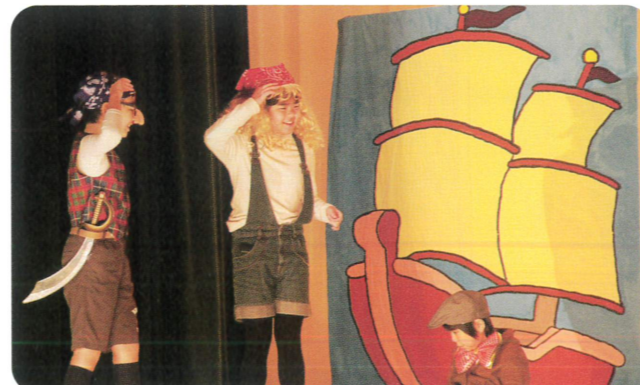
入学式



卒業式



6年生を送る会



しのめ発表会



リズムなわとび大会



ウェルカムデー



旅の学習(3泊)



山の学習(2泊)



海の学習(2泊)



教育実習

- 教育実習
- ウェルカムデー
- 複式授業座談会
- 旅の学習(6年生)

- 山の学習(5年生)
- 海の学習(4年生)

前期

- 教育実習



- 運動会

春休み

夏休み

秋休み

冬休み

- 入学式
- 健康診断
- お迎え遠足

- 6年生を送る会
- 卒業式
- 修了式

- しのめ発表会

後期

- リズムなわとび大会
- 入学調査(特別支援学級)

- 東雲教育研究会(小中合同)



三滝宿泊学習(特別支援学級)



しのめ祭り

- しのめ祭り
- 創立記念行事
- 三滝宿泊学習(特別支援学級)

8.沿革

- 明治
- 8年10月 広島県公立師範学校附属小学校として、広島市白島町に創立
 - 12年 9月 広島県広島師範学校附属小学校と改称
 - 34年 9月 広島市皆実町(現在比治山東詰)の新校舎に移転
- 大正
- 2年11月 第1回教育研究会(公開)開催
- 昭和
- 16年 7月 広島市東雲町(現在東雲三丁目)の新校舎に移転
 - 19年 6月 学校給食を開始
 - 20年 8月 原爆により校舎中破し、訓導・児童死傷
 - 20年 9月 各学年1学級編成で開校
 - 22年 4月 広島師範学校男子部附属学校と改称
 - 24年 5月 広島大学広島師範学校附属小学校と改称
 - 36年10月 養護学級を設置
 - 38年 3月 「研究紀要」第1集を発行
 - 45年 4月 新校舎落成・移転
 - 47年 4月 複式学級開設・同年複式校舎落成
 - 50年10月 創立100周年記念式典挙行・校歌制定
 - 53年 6月 広島大学附属東雲小学校と改称
- 平成
- 6年 6月 第100回東雲教育研究会を開催
 - 19年 6月 第1回複式授業公開研究会を開催
 - 23年12月 小中合同東雲教育研究会を開催
 - 25年 5月 インクルーシブ教育システム構築モデルスクール事業協力校、教育課程研究センター関係事業小学校ESD研究校に指定
 - 26年 6月 学校生活公開(ウェルカムデー)を開催
 - 27年 2月 ユネスコスクール加盟校として認定
 - 27年10月 創立140周年記念式典挙行